

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表			公表日 2025年10月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			人数によっては、狭く感じます。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		お子様が最適に過ごせるように視覚情報の量にも工夫しています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		お子様が快適に過ごせるように視覚情報の量やケガにつながる箇所についてはカバー等取り付けをしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		換気ができません。 建物自体が古い。 各教室のエアコンがよく壊れます。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		お子様の状況に応じて個別対応をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9			振り返りの時間を多くとっています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		頂いた内容を職員間で共有して、改善をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			個別で話す機会があるとより話しやすいと感じます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1		研修等の掲示方法が分かりやすくなるといいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		HP上に支援プログラムが公表されています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		児発管主導の元、適切にアセスメントを取り計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		児発管・専門職・保育士等様々な観点から検討会議を聞いています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		個別支援計画を基に支援プログラムを作成しています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		園の様子・ご家庭の様子・出来る事柄等記載できるアセスメントシートを使用しています。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		本人支援・家族支援・移行支援を含む計画書を作成しております。		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		チームで考え、適切な支援プログラムを作成しています。		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		お子様が飽きないように、またステップアップできるように教材の工夫をしています。		
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		お子様の課題、保護者様のニーズに対して個別+集団の療育を実施しています。		

	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		集団支援の際には、役割分担を事前に決めお子様が楽しく活動に参加できるように連携を密にとっています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援に対してフィードバックし、次回の支援に生かせるように共有しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		活動達成度、状態、保護者様のお声を反映した活動記録を作成しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的なモニタリングや都度フィードバックで出たご意見を基見直しを実施しています。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児発管・担当職員同席のもと会議に参加しています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		今後は保育・教育機関等連携を図り多角的に支援の体制を整えていきます。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5	保育所、園との連携を図り、都度お子様の情報共有が出来ています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		就学引継ぎシートを作成して、学校との連携を図っています。	
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		地域の研修に積極的に参加できています。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	必要に応じて園連携を図り、情報共有が出来ています。	地域の中でのお子様の活動機会はまだ実現できていません。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		FBや家族支援を基に適宜情報共有出来ています。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		必要に応じて個別・集団でペアレント・トレーニングを実施しています。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に説明しております。	
保護者への説明等	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者様のニーズやお子様の希望を聞く機会を作っています。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		作成時には保護者様に計画を説明して、同意を頂いております。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		面談や相談援助を適宜行っております。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	ご兄弟の皆様がご利用者様と一緒に参加できる機会を設けています。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		事実確認を行い、改善が必要なものに関しては保護者様へ説明を行っています。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		ブログを随時更新しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		各種マニュアルは会社指定の保管場所に格納されています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		(連絡アプリ) コノヘルの使用、連絡帳等活用して情報伝達を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		地域を招く活動はまだ出来ていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各種マニュアルは会社指定の保管場所に格納されています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		避難訓練、水害訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		契約時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		契約時にアレルギー同意書の記載をいただいています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画の研修の参加、訓練を全職員実施しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		非常災害時の連絡先の記載と災害用のスマートフォンがあります。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリの共有、再発防止を教室で行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止委員会主の元全職員研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		緊急やむを得ない場合の身体拘束であったり、事前に身体拘束をする可能性がある方に関しては会議等を行い説明をしています。	